

保育講習会のお知らせ

ファミサポでは年2回、保育講習会を開催しています。今回は11月15・17・24・28日の4日間、多摩平の森ふれあい館6Fにて行います。

全科目受講で10ポイントですが8ポイント以上取得で保育援助活動ができます。

まだ受講していない方は、この機会にぜひご参加ください。内容の詳細はホームページや広報ひの10月15日号でお知らせします。

お申込み・お問い合わせは11月8日(火)までにファミサポたかたはた支所へお電話ください。

☎042-599-7616

登録内容更新のお願い

会員の皆様の住所・電話番号などが変更になった、また、家族が増えた場合は、登録を修正する必要がありますので、お手数ですがファミサポたまだいらまでご連絡ください。

尚、退会をご希望の方もお知らせください。

お知らせがない場合、登録は自動的に継続されます。

☎042-589-7616



日野市 ファミリーサポート 通信

第25号
2016年10月

発行 日野市ファミリー・サポート・センター
受託 NPO法人 市民サポートセンター日野
〒191-0062
日野市多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 2F
TEL・FAX 042-589-7616
URL: <http://www.angel-hino.com/famisapo/famisapo.html>

養成講座・第11回会員交流会

～災害から大切な人と地域を守る～



料理研究家。長年の公民館活動、自治会活動を通して幅広い視野で市民の暮らしを見つめ、様々な視点から、行政、市民へ発信を続けています。

1. 講演 13:15~14:00
自助・共助って、なあに？
講師：鈴木直美さん(万願荘自治会防災会代表)
2. 実習 14:15~15:30
ライフラインが止まった時…
工夫して作るげんきごはん
3. 交流会 15:30~16:45
試食と交流
楽しく交流を深めましょう♪

日時 平成28年12月2日(金) 13:15~16:45 (13:00受付開始)
場所 多摩平の森ふれあい館3階 集会室6
参加費：300円(材料費)
定員：40名
持ち物：スプーン、マイカップ
申込締切 11月15日(火)
申込先 ☎042-589-7616 ファミサポたまだいら
主催 日野市ファミリー・サポート・センター、地区サポーター実行委員会
★保育(講演・実習時)をご希望の方はセンターまでご連絡ください。



平成28年度 地区サポーター紹介

困ったときにはお互いさま！私たちは少しでもお手伝いできたら嬉しいです。地域で支えあい、楽しく活動していきましょう。



高橋紀子 荒谷浩子 高橋嘉子 河野瑤子
三好啓子 岩石法子 山口伸子 荒川紀代美

あつまれ！ミニ交流会

平成28年10月28日(金)10:00~11:30
多摩平の森ふれあい館 2F 集会室1.2

参加費：無料 親子で参加大歓迎！

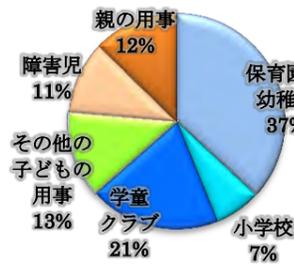
内容：紙芝居、おり紙(くるくるコマ)、お茶を飲みながらおしゃべり交流会。日頃感じていること、心配なこと、悩みなど何でもOK。どなたでも参加できます。

申込み：不要。

お気軽にどうぞ！地区サポーターみんなで待ってます。

平成27年度の活動状況

保育援助活動の内訳



会員別人数

依頼会員	5,896名
提供会員	582名
両方会員	163名
合計	6,641名

保育援助・事前打ち合わせ件数 280件

保育活動総数 3,971件

家事・妊産婦・高齢者援助・事前打ち合わせ件数 64件

家事活動総数 1,657件

◆アドバイザー紹介◆

～みなさんの笑顔を励みに日々頑張っています～



白神 岡部 城山 室園
増井 土屋 長橋

センターからのお願い

事前打ち合わせ票や活動報告書は個人情報記載された大切な書類です。取り扱いには十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

ファミサポたまだいら ☎ 042-589-7616

ファミサポたかた ☎ 042-599-7616

「一億総活躍社会」とファミリー・サポート・センター

政府は本年6月2日、我が国の構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」を目指し、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の実現に向けた「ニッポン一億総活躍プラン」を閣議決定いたしました。

一億総活躍社会とは、若者も、高齢者も、女性も、男性も、障害のある方も、一人ひとりが家庭や地域や職場で自分の力を発揮し、誰もが活躍できる、いわば全員参加型の社会です。一億総活躍社会の実現は、少子高齢化・人口減少社会における持続可能なまちづくりには欠かせないものであり、誰もがその個性と能力を十分発揮するためにも非常に重要なことです。しかし、その実現には核家族化の進展や地域でのつながりの希薄化による育児不安の増大や育児の孤独化など、現代社会が抱える課題にも向き合わなければなりません。

このような状況の中、日野市のファミリー・サポート・センターが行っている幅広い援助活動は、手助けが欲しい方(依頼会員)の活躍を支える重要な役割を担うとともに、手助けをしたい方(提供会員)の活躍の場そのものとなっています。これから「ニッポン一億総活躍プラン」が本格的に動き出し、多くの方々の活躍の場が増えることで、ますますファミリー・サポート・センターの必要性や重要性が増してくることになります。今後の更なる活動の充実、発展を期待しています。



日野市子ども部長
小塩 茂

ご存知ですか？

日野のファミサポは“家事の援助”もしています

日野市のファミリー・サポート・センターは、「保育援助」「家事援助」「妊産婦援助」「高齢者援助」の4つの援助活動を行っています。今号は、子育て中のご家庭への家事援助特集です。



妊産婦援助から家事の援助へ



Aさんはファミサポの妊産婦援助から家事援助へ移って現在に至っています。また、別途、同じ提供会員のDさんに保育援助も頼んでいます。最初は週2回でしたが、月2回となり今は月1回、2時間の活動です。部屋の片づけや掃除機掛けが

主なものです。この日は、上のお子さんの保育園が休みで在宅でしたが、エプロンをつけてDさんと一緒にリビングの床拭きを手伝っていました。



「無理をしないと決めてます」 依頼会員Aさんの声

保育園の知人からファミサポを紹介されました。頼れる人がいなくて第1子の時、産後がとても大変だったので第2子の今回は「無理をしない」と決め依頼しました。今は月1回に減りましたが「提供会員のDさんが来て掃除してくれる」ということで気持ちに余裕が出てきます。活動はDさんにお任せ状態ですが本当に助かっています。

「お手伝いしてくれるの、やさしいね」 提供会員Dさんの声

私にとってAさんのお宅が保育講習会終了後初めての活動でした。そのため最初は心配やとまどいもありましたが、回数を重ねて徐々に慣れ、今では手順も身に付き、流れに沿って動けるようになっています。朝の時間帯なのでお子さんたちと顔を合わせるため、活動のたびに挨拶をしてくれます。Aさんとは親子ほど世代が違うので新しい話題を出されて、楽しく活動しています。



ママサポさんからファミサポ家事の援助へ

Bさんは日野市産前産後ケア事業「ママサポさん」を利用した後、続いてファミサポの家事を依頼しました。提供会員のEさんもママサポさんからそのまま援助に入りました。掃除と夕食作り（3人分）週2回、1時間30分の活動をしています。この日の献立のメインは豚肉の生姜焼き。付け合わせは胡瓜にピーラーで筋を入れリボン状にしたもの。

「今日のおかずは何か？」 依頼会員Bさんの声

今、体力的にも精神的にも家事が大変。



Eさんに来てもらってとても助かっています。第1子の時に知っていれば良かった。もっと広く市民、特に女性にこのような制度がある事を知ってほしいと思います。夫や子どもも「きょうはEさんが来てくれたんだね」といつもおかずを楽しみに帰ってきます。

「ホッと出来てますか？」 提供会員Eさんの声

お母さんが子育て中にホッとする時間を作ってあげられればいいと考え活動に入っています。Bさんがお子さんとゆっくり過ごし、休んでいる時に活動する時もあります。少しでも役に立てればとの思いが強いのですが、自分流ではなくBさんの考えに沿うよう配慮することが大事だと思っていますし、一緒に明るく過ごせればいいなと思っています。



ふれんどさんからファミサポ家事の援助へ

Cさんは、双子を妊娠中に夫が転勤になり他県から日野市へ引っ越しで来ました。病院からファミサポを紹介され「ふれんどさん」の制度も活用しながら大変な時期を乗り越えました。現在は、ファミサポで、週1～2回、2時間、主に3～4人分の夕食作りの家事援助を受けながら充実した日々を送っています。

「東京のお母さんみたい」 依頼会員Cさんの声

親は遠距離在住で頼れる友人や知人もいませんでした。医者からは切迫早産の可能性もあると言われ最初は絶対安静の状態。それでファミサポに妊産婦援助を頼みました。提供会員のFさんは母親のような感じで心の支えになっていて出会えなければ今も孤独だったかも知れません。ファミサポを利用すると決めた時、年配の提供会員さんだったら体力的に大丈夫なのかしらとか、時間通りに来てもらえるのかなど心配や不安がありました。本当に「案ずるより産むが易し」でした。



「おばあちゃんの知恵袋よ！」 提供会員Fさんの声

Cさんが双子さんのお世話をしている間、2～3品の食事を作っています。ですからお子さんたちの成長も間近に見られ孫のような感じです。最近ではCさんの子育てに余裕が出てきたかなとも思います。ファミサポは核家族が増える中、手助けが必要な人にとって非常にいい制度だと思います。「おばあちゃんの知恵袋」的な話をすることもありですが、自分の価値観を押し付けないように配慮しているつもりです。Cさんの笑顔を見ると嬉しいです。

明るくにこやかなFさん



この日の献立は、大人用に焼き餃子。その種を利用して子どもには一口ハンバーグ。すりおろした人参や残りの野菜で具だくさんのお味噌汁も出来ました。

ふれんどさん、ママサポさんとファミサポ

ふれんどさんとは、当法人が自主活動として始めた、0,1,2歳児を持つ、ちょっと育児に不安を感じているママさん宅に無償で5回ほど訪問し、育児や家事と一緒にボランティアの方々です。ママサポさんは、日野市産前産後ケア事業の訪問支援員です。利用者は一時間550円の自己負担金で1回2時間～4時間の支援を24時間まで受けることができます。ふれんどさんもママサポさんも、ファミサポのベテラン提供会員の方々です。どちらも利用回数や時間が限られているため、それぞれの利用終了後は、ファミサポに移行して、必要な支援を受けています。

★関心のある方は右記へご連絡ください NPO 法人市民サポートセンター日野 ☎042-583-1528



ひのさい おかずクラブと日野菜ママ

Cさんは、現在、NPO法人主催のおかずクラブに参加。“地場野菜で子育て・日野菜ママ”として活躍中です。日野菜ママは、日野の野菜を使い子どもにも食べられる料理のレシピを開発しています。活動は日野菜ラボと日野菜キッチンを交互に行い、日野菜ママは調理の試作・試食をしてレシピを作ります。レシピ集のメニューからランチを提供する日野菜キッチンカフェを隔月で行っています。